

令和 2 年度 古里中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

青雲の志 将来の夢や希望を抱き、その実現に向けて自己を高めようとする強い意志
友垣の和 正義感・連帯感を大切に、友達のために尽くそうとする心と行為
冴えた知性 学んだことを最大限に活かし、よりよい社会の創造に貢献する能力

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

・信頼と絆（子ども・保護者・地域・仲間との信頼関係と絆を深めることによって、教育の推進力とする。）

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

・生徒・保護者・地域から信頼される学校の創造に努める。

[古里地域学校園教育ビジョン]

○確かな学力の向上 ○コミュニケーション能力の育成

4 教育課程編成の方針

・学校教育目標の具現化を目指し、経営方針に従い、本年度の努力点が達成できるよう、弾力的に編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

○確かな学力の向上

・学業指導の充実（学びに向かう集団づくり、意欲的に取り組む授業づくり）

○コミュニケーション能力の育成

・将来の目標をもちその実現に向けて努力しようとする生徒の育成（キャリア教育の充実）

・相手を理解し、それを態度や行動で表そうとする生徒の育成（人権教育の推進）

・働き方改革の推進（学校業務のスリム化、勤務時間を意識した働き方の推進）

・部活動の適切な運営（平日 2 時間、休日 3 時間まで。週 2 日以上以上の休養日の設置）

【学 習 指 導】

○確かな学力の育成・向上

・「学びあい」を通した学習意欲の向上、基礎・基本の定着及び思考・判断・表現力等の育成

・主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善

・わかる授業の実践

・言語活動の充実「自分の考えを書いて発表する活動の重視」

・家庭学習を中心とした自主学習の内容の充実

・I C T活用授業の推進

・特別支援教育の推進

・道徳科を核とした系統的な教育や認め励ます教育などの「心の教育」の推進

【児 童 生 徒 指 導】

○コミュニケーション能力の育成

・よりよい人間関係を築くために人の気持ちを考えられる生徒の育成：人権教育の推進

・学業指導の充実（学びに向かう集団づくり、意欲的に取り組む授業づくり）

【健康（体力・保健・食・安全）】

○健康面・体力面に關心を持ち、積極的に健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答 90%以上	○家庭学習の習慣化を図るために、家庭学習の記録をチェックする。 ○「家庭学習の手引き」に基づいた、家庭学習の内容になるよう指導する。 ・学びに向かう集団づくり、意欲的に取り組む授業づくりなど学業指導の充実に努める。	B	【達成状況】 ・教職員、保護者、生徒の平均肯定回答が95.8%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+0.4 市平均より+3.8 【次年度の方針】 ・家庭学習の習慣化と質の向上に継続して取り組む。 ・主体的・対話的な学びあいを通した確かな学力の育成と向上を図る。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・道徳の授業を通して、教員や他の生徒との対話や討論など行うとともに、生徒に考えさせる授業を行う。 ・教職員が生徒に対して、肯定的な言葉掛けを心がけることによって、言語環境を整える。	B	【達成状況】 ・教職員、保護者、生徒の平均肯定回答が94.4%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+3.0 市平均より+2.2 【次年度の方針】 ・よりよい人間関係を築くために、様々な取り組みの中でコミュニケーション能力の育成を継続する。
	A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	・TPO を意識した基本的な行動様式（時間を守る、身の回りの整理整頓、状況に応じた礼儀・態度など）を職員の共通理解のもとに指導する。	B	【達成状況】 ・生徒の平均肯定回答 94.5%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+0.4 市平均より+5.0 【次年度の方針】 ・TPO を意識した基本的な行動様式の徹底を教職員の共通理解のもとに継続する。
	A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 保護者肯定的回答 90%以上	○地域学校園共通の「あいさつ運動」を通して、望ましいあいさつ習慣を身に付けさせる。 ・教職員から積極的なあいさつを行い、まごころを込めたあいさつが出来る心を育てる。	B	【達成状況】 ・生徒の平均肯定回答 98.2%、保護者は91.2%であり、生徒、保護者ともに数値目標値を上回った。 生徒：昨年度より+0.2 市平均より+2.6 保護者：昨年度より+4.6 市平均より+3.0 【次年度の方針】 ・地域学校園共通「あいさつ運動」を継続する。 ・教職員からのあいさつも積極的に行い、普段からあいさつが多く飛び交う、活気のある学校づくりに努める。
	A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・学習や部活動、学校行事において目標を明確にして、生徒各自の目標を持たせて取り組ませる。 ・振り返りの機会を設定して、次の場面で生かせるように指導する。 ・教職員が生徒の結果よりも過程を重視して、成長した部分を認める指導に重点を置く。	B	【達成状況】 ・教職員、保護者、生徒の平均肯定回答が85.2%であり、数値目標値を上回った。生徒の回答は86.9%であった。 昨年度より+3.3 市平均より+2.1 【次年度の方針】 ・目標を持たせたり、振り返りの機会を設定したり、成長した部分を認める指導に重点を置く。

A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・保健だよりや食育だより、集会等で啓発活動を継続する。 ・交通安全教室や避難訓練を実施することで、安全への意識を高めさせる。	B 【達成状況】 ・教職員、保護者、生徒の平均肯定回答が 96.3%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+3.2 市平均より+3.7 【次年度の方針】 ・各種たよりでの啓発活動と各種行事で安全意識の向上を図る。
A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・「働く人に学ぶ」「宮チャレ」「先輩に学ぶ」等の行事において、働く意義を学べるように設定する。 ・家庭や地域との連携を図り、各種ボランティア活動に積極的に参加させる。	B 【達成状況】 ・教職員、保護者、生徒の平均肯定回答が 85.2%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+3.3 市平均より+2.1 【次年度の方針】 ・各種行事の設定で働く意義を考えさせ、地域でのボランティア活動への参加も積極的に促す。
A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・英語の授業を中心に、英語表現を用いた言語活動の場を多く取り入れる。 ・ALTの学校行事への参加を通して、ネイティブ英語に触れる機会を増やしていく。	B 【達成状況】 ・生徒の平均肯定回答が 90.1%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+3.1 市平均より+3.4 【次年度の方針】 ・英語の授業において、ALT と協働して言語活動を充実させていく。
A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・道徳の授業において、指導内容項目C-16(郷土の伝統と文化)の授業を充実させる。 ・総合的な学習の時間や地域のボランティア活動に参加することで、宇都宮の良さを体験できるようにする。 ・集会の場で、委員会発表を通して啓発活動をする。	A 【達成状況】 ・教職員、保護者、生徒の平均肯定回答が 75.1%であり、数値目標値を下回った。 昨年度より+5.5 市平均より+7.7 ・2年の古里地域P Rリーフレット作成活動により、生徒が地域をより意識でき、保護者への発信にも効果的であった。 【次年度の方針】 ・次年度は、全学年で「宇都宮学」を実施するため、各教科が横断的学習で宇都宮について学習を行えるよう体制づくりをする。
A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・メディアルームを各教科で積極的に活用する。 ・相互授業参観において、ICT教育を視点にした授業を展開する。	A 【達成状況】 ・教職員の平均肯定回答が 96.9%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+16.3 市平均より+14.2 【次年度の方針】 ・タブレットを各教科で積極的に活用する。 ・相互授業参観をはじめ、ICT教育を視点にした授業を展開するため研修を行う。
A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・道徳の授業において、指導内容項目B-6(思いやり、感謝)、C-14(家族愛)の授業を充実させる。	B 【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 95.8 %であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+2.3 市平均より+3.6 【次年度の方針】 ・継続して道徳授業の充実を目指す。
A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・社会科授業において「持続可能な社会」について学ぶ機会を作る。 ・生徒会福祉委員会「ペットボトルキャップ回収活動」を通して関心を高めさせる。 ・各委員会でテーマを設定し、発表の場を設けて生徒が主体的に動く機会を与える。 ・道徳の授業において、指導内容項目D-20(自然愛護)の授業を充実させる。	A 【達成状況】 ・生徒の肯定的回答が 75.9%であり、数値目標値を下回った。 昨年度より-1.0 市平均より+4.7 ・生徒会中央委員会にて、「古里中学校の持続可能な社会S F G s」の掲示物を作成した。 【次年度の方針】 ・各専門委員会で17項目から目標設定をして、具体的な取組を行う。 ・各教科(道・社・家・理・技など)と連携を図る。

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・特別支援教育コーディネーターを中心に配慮生徒の情報共有を図る。 ・SC、MSと協働し、週1回の教育相談部会の機能を充実させる。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が 100.0 %であり、数値目標値を上回った。 昨年度と同値 市平均より+4.7 【次年度の方針】 ・配慮生徒の情報共有、教育相談部会や校内支援委員会の充実を図るなど、特別な支援を必要とする生徒に対して、組織で取り組む。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 肯定的回答 90%以上	○日常の観察や教育相談、アンケート調査などを通じて、いじめの早期発見に取り組み、適切かつ迅速に対応する。 ○学校生活全体を通して、思いやりや助け合い、規範意識等の心を育て、望ましい人間関係を築く力を育成する。 ○集会の開催や撲滅運動を展開し、自分の大切さとともに他の人の大切さを実感させる。	B	【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 94.2%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+1.3 市平均より+2.2 【次年度の方針】 ・今年度同様の取組や新たな試みなど、いじめ対策を継続、充実させる。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 肯定的回答 90%以上	・SC、MSと協働し、週1回の教育相談部会の機能を充実させる。 ・教育相談、Q-U結果を活用し、不適応傾向にある生徒の早期発見を図り、学校体制で早期対応する。 ・生徒の良い所は認め、尊重し、自尊感情を高める指導を実践する。	B	【【達成状況】】 ・全体の肯定的回答が 94.9%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+3.4 市平均より+2.3 【次年度の方針】 ・今年度同様の取組を継続、充実させる。
	A16 教職員は、外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・特別支援教育コーディネーターを中心に当該生徒の情報共有を実践する。 ・SC、MSと協働し、週1回の教育相談部会の機能を充実させる。 ・当該生徒の言語や文化を理解する機会を設定する。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100.0%であり、数値目標値を上回った。 昨年度と同値 市平均より+4.7 【次年度の方針】 ・配慮生徒の情報共有、教育相談部会の充実、国際理解教育の充実を図るなど、支援を必要とする外国人生徒等に対して、組織で対応する。
	A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 肯定的回答 85%以上	・各種評価や反省等を生かし、学校行事、各種活動等を適切に設定する。 ・学校・学級その他、異年齢集団活動を通して、心の通じ合いや粘り強い努力を大切にし、充実した活動を行う。	B	【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 94.4%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+1.1 市平均より+1.7 【次年度の方針】 ・心の通じ合いや粘り強い努力を大切にし、充実した活動を行う。
	A18 教職員は、分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・課題の提示、発問、板書等、指導方法について工夫し、分かる授業を展開する。 ○個に応じたきめ細かな指導を行い、TTや少人数指導・習熟度別学習など学習形態を工夫する。	A	【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 92.1%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+2.4 市平均より+2.4 【次年度の方針】 ・TTや少人数指導、習熟度別学習など学習形態を工夫して、分かる授業を展開していく。

A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・学校行事や職員研修などにより、全職員が専門性を生かして業務に取り組む体制を強化する。 ・風通しの良い雰囲気を醸成することで、職員個々の良さを生かせる体制づくりをする。 ・教科部会や教科主任会、校務分掌部会等を機能させ、教職員の考えを業務に生かす。	B 【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が 100.0%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+16.1，市平均より+8.6 ・コロナ対応により全職員が一丸となり業務に取り組んだ。 【次年度の方針】 ・学校行事等の目的を明確にすることで、全職員が専門性を生かして業務に取り組む体制を強化していく。 ・これまでの取組を継続するとともに、学年間の連絡を密にし、同僚性を高める。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・出退勤管理により、各自が勤務時間を意識して校務の効率化に取り組む。 ・管理職が時間外勤務状況をもとに校務分掌の平準化、効率化に取り組む。 ・リフレッシュデーや、部活動可能日を全職員が意識し遵守する取組を強化する。	A 【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が 78.1 %であり、数値目標値を下回った。 昨年度より+23.1 市平均より+6.7 【次年度の方針】 ・業務の見直しと効率化を図る。 ・部活動の在り方の見直しを図る。 ・管理職の強いリーダーシップのもと、業務の効率化を図る。 ・タブレットの有効活用を共有する。
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	○あいさつ運動などの生徒会活動による学校園共通の取組を実践する。 ○PTAや地域協議会を通した、地域学校園共通の取組を行う。	B 【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 87.4%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より-4.8 市平均より+3.8 【次年度の方針】 ・地域学校園共通の取組を継続していく。
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・「魅力ある学校づくり地域協議会」を活用して学校をより開かれた場にするとともに、地域の教育力や学校支援ボランティアを十分に活用、学校園との連携を深めて、地域との連携を強化する。	B 【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 90.8%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+0.9 市平均より+2.2 【次年度の方針】 ・今年度同様、学校園との連携を深めて、地域との連携を図っていく。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・保護者会、三者懇談、オープンスクール等を活用し、保護者との連携を強化する。 ・地域・企業等と連携を図り、より充実した教育活動を行う。	B 【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 90.8%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+0.9 市平均より+2.2 【次年度の方針】 ・今年度同様、保護者や地域との連携を図っていく。
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・安全点検の実施により破損箇所、危険箇所を速やかに改善、修繕する。	B 【達成状況】 ・教職員、保護者、地域住民の平均肯定的回答が97.0%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+1.5 市平均より+1.8 【次年度の方針】 ・今年度同様、破損箇所、危険箇所を速やかに改善、修繕する。

	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	・メディアルームを各教科で積極的に活用する。 ・相互授業参観において、ICT教育を視点にした授業を展開し、教職員の活用能力を育成する。 ・ホームページや各種便りで、デジタル教科書やパソコン等のICT機器を使った授業を紹介し、保護者に学校の取組を周知する。	A	【達成状況】 ・全体の肯定的回答が 85.3%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より+8.9 市平均より+14.0 【次年度の方針】 ・タブレットの利用とICT機器を使った公開授業の継続、授業で利用できる図書教材のリスト化を図る。
本校の特色・課題等	B1 コミュニケーション能力の向上に努める。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	○コミュニケーション能力育成のために、対話や討論など生徒に考えさせ、発表させる授業を行う。 ○各教科・領域等において、話し合い活動、発表などの機会を計画的に設定する。	A	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答が 89.3%であり、数値目標値を上回った。 昨年度より-1.4 【次年度の方針】 ・今後もコミュニケーション能力の育成を図る。
	B2 自分の将来について考え、社会の出来事に興味・関心をもって生活することができる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・望ましい職業観や勤労観を養うために、地域や家庭、企業との連携・協力を深めた授業や体験活動を行う。 ・3年間を見通したキャリア教育指導計画に基づき、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を関連付けて指導する。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答が 88.1%であり、数値目標値を上回った。昨年度より-2.0 【次年度の方針】 ・キャリア教育の充実に努める。
	B3 豊かな表現力を支える言語活動を向上させるため、読書の習慣化に努める。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・朝の読書の時間を確保する。 ・利用しやすい図書室の環境整備と利用の促進を図るなど、読書環境づくりを進める。 ・「図書館だより」を通した多様な図書情報の提供や生徒会図書委員会の活動を通して、読書に対する意欲を高めさせる。	A	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答が 73.7%であり、数値目標値を下回った。 昨年度より-0.4 【次年度の方針】 ・学校司書による読み聞かせやブックトークなどにより、読書への興味を持たせる。 ・朝の読書の時間確保を継続する。 ・生徒会図書委員会により学級文庫充実を図る。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○生徒は落ち着いて学習に取り組むことができ、発表する力も少しずつ向上しているがまだ今後も改善が必要である。次年度もコミュニケーション能力を向上させるための言語活動の充実、ICT機器を活用した授業を実践する必要がある。

- ・A14のいじめ対策において、教職員、保護者、地域住民、生徒の肯定的回答値が市平均を上回っている。いじめの早期発見や迅速な対応と地域学校園共通の取組が理解されている現れと思われる。今後も、各種通信やHPなどの周知・広報活動を通して、安心・安全で保護者に信頼される学校づくりに努めていくことが必要である。
- ・A6「健康や安全」の生徒の肯定的回答値は市平均を上回り高い数値を示している。教職員全体で新型コロナウイルス感染症対策について指導を継続してきた効果と思われる。今後も最新の情報を基にした指導を継続する。
- ・A12「持続可能な社会」については、生徒会専門委員会を中心に、より具体的な取組を展開していく必要がある。

7 学校関係者評価

- ・市の平均と比較して、今年度も多くの設問で高い評価を得ている。今後も現在の教育活動の継続的な取組をしてほしい。
- ・全体的に、生徒と教職員とがより良い人間関係の中で、落ち着いて学校生活を送っている。
- ・部活動数の削減を検討しているようだが、地域の指導者資源を生かして、現状の部活動数を維持することを期待する。
- ・A14「いじめ対策」の肯定的回答値は、高い数値を維持している。HPや生徒指導だより等を通じて、学校の熱心な取組を根気よく伝えている成果だと思う。また、地域学校園内で小中連携して「いじめゼロ運動」を実施したことで、良い啓発になっている。
- ・今年度は地域学校園における合同あいさつ運動を実施することができなかったが、小学生に中学生の活躍を見せることはとても良い刺激になっているので、次年度は可能な限り実施してほしい。

- ・HPが頻繁に更新されたり、自治会にも「学校だより」が配られたりして、学校の様子がよく分かる。今後も継続を期待する。
- ・A14,A17,A22,A23：地域の教育力が高く、地域と家庭・学校が連携・協力している環境が基盤となり、高評価が継続していると思われる。
- ・授業および諸活動での発表力・聴く力の育成強化がコミュニケーション能力の向上に必要であると思われる。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・「あいさつ」が、より良い人間関係の構築には不可欠であるという意識を高めるとともに、生徒会を中心に、学校園内小学校と連携したあいさつ運動を推進する。
- ICTを活用した指導方法の工夫・改善に努めるとともに、生徒一人ひとりの理解度に応じたきめ細かな指導を通して、主体的・対話的な学びあいを通した確かな学力の育成と向上を図ると共に、コミュニケーション能力の育成を図る。
- 新型コロナウイルス感染症により、不安を抱える生徒が増えることが予想されるため、教育相談を充実させて、「安心して学べる学校づくり」を地域学校園で取り組んでいく。
- ・今年度も「学校だより」を定期的に発行し自治会を通して地域に配付したり、HPを通して本校の取組を知らせたりすることができた。また、HPに「いじめゼロ運動」のバナーを作成し、学校の指導方針・指導内容等を伝えることで、保護者の理解と協力を得ることができた。来年度も、全学級で学級通信を発行するなど、保護者への広報活動により一層努めていく。